



日経
1997.4.12

理研に転じ、脳研究続ける 松本元氏

「心の理解」に踏み込む

脳型コンピュータを研究してきた松本元氏（56）が工業技術院電子技術総合研究所の首席研究官を三月末で辞職、理化学研究所国際フロンティア研究システムの副ディレクターに転じた。十月に「脳科学総合研究センター」が発足した時点で、新組織のディレクターに就く。

「脳のようにアルゴリズム（情報処理手順）を自分で学習するコンピュータを造り、本物の脳を理解する」のがライフワーク。理研でもこの研究を続けるが、「同じことを続けていては僕自身の脳も成長しない。脳の働きでどのように心が生まれるのかなど、『心の理解』にも踏みみたい」という。

理研から歩いて五分の場所にアパートを借り、「生まれて初めての一人暮らし」。週末だけは妻子のいるつくば市の自宅へ帰る。「ちょっとつらいが、新しい研究仲間との交流が楽しみ」と前向きだ。